高輪を みんなの 心のふるさとに

高輪だより

平成３１年度５月号
港区立高輪幼稚園
園 長　柿沼　敦子

高輪幼稚園ＰＴＡの歌

園長　柿沼　敦子

高輪幼稚園には　「ＰＴＡ（当初は父母の会）の歌」があります。ＰＴＡ総会や高輪コンサートで聴く度に保護者の皆様のやさしい二部合唱と子を思う父母の心の歌詞に感動します。高輪幼稚園の保護者の皆様にふさわしい歌です。

先日、音楽家であり作家であり、元埼玉県教育委員会委員長をなさっておられた松居　和氏の講演を聴きました。

> 幼児が初めて歩いたとき、それを見ていた人間（家族）は嬉しくなる。そして一緒に見ていた人間たちの心がひとつになる。それが人間社会の原点だと思います。その風景が人間たちに生きる力を与えました。ほとんどの人間たちが、歩けない、しゃべれない、トイレにもひとりでは行けない０才児から順番に数年間幼児につきあい、人生の一時期、幼児を慈しみ育て、彼らが全身全霊で信じ、頼ってくれることに気付き、「自分が必要とされている瞬間」を幼児たちの眼差しから実感すれば、自分の本当の価値観に気付く。その記憶がその人の人生を支えます。幼児と過ごす時間は、人生は思うようにならないことを実感する時間。そして自分がそれを笑顔で受け入れられることに気付く時。子どもを育てることで親として人間として育っていく。絶対に一人では生きていけない幼児たちが、まず私たちを育てます。・・・・・(略)

幼児の存在が社会の人間性を育むと熱くお話されました。先進国社会では人々の心が荒れ始め、子育ては誰かが（仕組みが）してくれるものとなれば親が親として育たず、社会を支える土壌（モラルや秩序）は崩れていくというのです。講演の内容に魅了されあっという間の９０分でした。

５月に母の日、６月に父の日があります。保護者の皆様を生み育てた父母の深い愛に感謝しつつ、現在、自分が父母として生きていること、幼子を全身全霊で育てている自分を強く褒め称える日にして欲しいと心深く思います。

高輪幼稚園ＰＴＡの歌

さみどりの
たかなわのその
ひとときを　ここに
つどえば
楽しげに　よりそう
いとしき　おさなご
ああ　われら
さいわいいのる父母なり

ふりそそぐ
にちりんのその
しろいくも　あおぐ
おさなご
ともに　手をとりて
かがやく　ひとみ
ああ　われら
さいわいふかし父母なり

３歳児　こいのぼり

４歳児　こいのぼり

５歳児　協同製作